

文化が薫る 笑顔が集う まちの身近なふれあいの文化施設

令和3年

10

第78号

みさくらぼ



文化会館だより

■発行/水窪協働センター 生涯学習グループ・水窪図書館
地域活性化団体 よかつらみさくぼ (管理受託者)
■問合せ/☎ (053) 982-0013 FAX (053) 982-0022

みさ文 トピックス

今月の話題

よみがえる合戦の記憶！

「峠の国盗り綱引き合戦」展

水窪文化会館のロビーで、「峠の国盗り綱引き合戦」の展示を開催中です。今年も合戦は中止となってしまいましたが、第1回の写真や過去の合戦を振り返る写真やシューズ・サポーターなどの綱引き道具、遠州軍の法被などを展示しています。これまでの綱引き合戦の歴史を振り返ると共に、ぜひ奥の深い綱引きの世界を味わってみてください。



▲第1回や過去の合戦の写真



▲綱も展示中



▲遠州軍の法被や綱引きグッズも展示

ホームページでも公開中！

水窪文化会館だよりは、市ホームページでも公開しています。写真などはカラーで掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

🔍 水窪文化会館だより で検索!

※こちらのコードからもアクセスできます。▶



秋は水窪文化会館へ

朝晩は涼しくなって秋めいてきました。「〇〇の秋」とよく言いますが、皆さんはどんな秋をお過ごしですか。「読書の秋」「スポーツの秋」「文化の秋」…。文化会館は、皆さんの秋をサポートする施設です。「食欲の秋」の皆さんも、たまには、ぜひ水窪文化会館へお立ち寄りください。



これから開催予定の講座やイベントを紹介します。

水窪文化祭 開催のご案内

町内の皆さんの作品や演技の発表の場です。
多くの皆さんのご来場を心よりお待ちしております。

開催日

11月6日【土曜日】

開場:12時30分

開演:13時

会場

水窪文化会館 ホール・視聴覚室

出演

【芸能発表】

- ・立花会
- ・絵美の会
- ・箏曲
- ・水窪詩舞会
- ・ピアノ教室
- ・本町かっぽれ会
- ・水郷会(銭太鼓)

【作品展示】

- ・やしおクラブ
- ・水窪草木染
- ・パッチワーク
- ・あひるの会
- ・元気はつらつ教室
- ・つまようじアート



星空観望会



日時

11月16日【火曜日】

午後7時30分～9時

会場

水窪文化会館 天体観測ドーム

対象

子供から大人まで

※小学生以下の参加は保護者同伴で
お願いします。

ピアノ・ホール 無料開放



水窪文化会館のピアノとホールステージ
を無料開放します。

11月の開放日

1日(月)・8日(月)・15日(月)・
22日(月)・29日(月)

時間

午前9時～午後5時

【講座・イベントにご参加の際の注意事項】

- ・マスクの着用、手指の消毒、検温にご協力ください。
- ・受付で氏名・連絡先をお伺いします。
- ・当日、体調のすぐれない方は、参加をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大状況などにより、やむを得ず開催中止となる場合があります。
- ・講座風景を市のホームページなどに掲載することがあります。ご了承ください。



シニア向け講座

浜松市と聖隷クリストファー大学との連携事業

みんなで心も体も元気になろう！

～健康寿命を延ばす予防と対策～



転倒による健康への悪影響や認知症について学び、予防のために自宅でできる運動などを実際に体験します。

開催日

11月10日【水曜日】

午後2時～

会場

水窪文化会館 視聴覚室あ

講師

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部
理学療法学科 学生

定員

15名

申し込み

電話または直接、水窪文化会館までご連絡ください。

【11月5日(金)締め切り】 ☎982-0013

大学生が講師を務める講座です。

ぜひ、お気軽にお越しください！



12カ月の季節の折り紙 展示中

水窪文化会館の入り口にスタッフが図書館の本を見て作った折り紙の作品を展示しています。12カ月の季節の行事を折り紙で表現しています。皆さんも一度ご覧いただき、ぜひ挑戦してみてください。

10月は「収穫祭」の作品 ▶



水窪民俗資料館 古民家にお月見飾り

水窪民俗資料館横の古民家に「水窪文化財懇話会」により、お月見のお供えを飾り付けていただきました。

月見団子や里芋などを、本物そっくり
に木で再現してあります。

水窪のお月見は10月に行います。農作物の豊作に感謝し団子や里芋を、ススキや菊を飾って供えて月見を楽しみ、祝います。





今月のおすすめ本



『老後の年表 人生後半50年でいつ、何が起きるの…？
で、私はどうすればいいの??』

横手彰太／著

介護離職、熟年離婚、老後うつ…。人生の後半でいつ、何が起きるのか。50歳以降に起きやすいことを年表形式で紹介し、著者の経験や研究データをもとに解決策を具体的に説明する。

『飯田線のEF58』

所澤秀樹／著

古くから鉄道ファンを惹きつける飯田線。興趣に富んだ路線を、ゴハチことEF58が駆け抜けた時代があった。飯田線全線を対象に300点以上の写真で往年の雄姿の追憶を試みる。

『りんごの木を植えて』

大谷美和子／作 白石ゆか／絵

「たとえあした、世界が滅亡しようとも、きょうわたしはりんごの木を植える。」このことばを教えてくれた大好きなおじいちゃんに、がんの再発が。おじいちゃんは積極的な治療は行わないと言い…。心あたたまる家族の物語。

『ばあちゃんからの贈りもの
“いのち”はつながっている』

おおさとみほこ／さく やざわさわこ／え

りっくんにいつも「いのち」のつながりと自然への感謝を教えてくれたばあちゃん。そんなばあちゃんが突然亡くなってしまふ…。祖母との日々とその死を通して「いのち」のつながりの意味に気づく少年を描いた絵本。

『おひとりさまの終活
お困りごとは死後事務委任で解決』

神田紀久男／著

葬儀の主催、行政手続き、クレジットカードの解約など、自分が亡くなった後の手続きを親族以外の人に託す「死後事務委任」を詳しく紹介。終活の成功事例も収録する。

『これでおしまい』

篠田桃紅／絵

人間は死ぬまで一生迷路に入っているんです。迷いと、自ずから何とかなるだろうという楽観的な考え方がいつもやり合っている。107歳、世界的美術家が遺した「人生のことば」をまとめる。

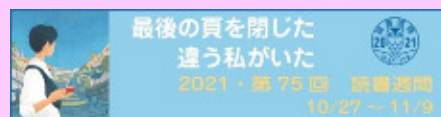
『おじいちゃんとの最後の旅』

ウルフ・スタルク／作 キティ・クローザー／絵

病院に入院しているおじいちゃんが、死ぬ前に家に取りに行きたいものがあるという。ぼくはおじいちゃんのために、病院を抜け出すカンペキな計画を立てた…。切ない現実をユーモアでくみ、巧みに描いた物語。

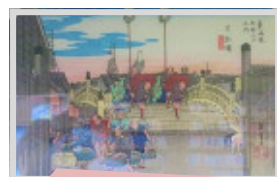
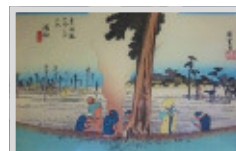
10月27日(水)～11月9日(火)は
読書週間です。

この機会に様々な分野の本を読んでみてはいかがでしょうか。皆さんにぴったりの本を探しに、ぜひ水窪図書館へお越しください！



歌川広重「東海道五拾三次(保永堂版)」の版画を展示中！

水窪図書館内に、孫六義幸さんからお借りした歌川広重の「東海道五拾三次」の版画を展示しています。定期的に入れ替えながら展示しますので、ぜひご覧ください！



「NHK浮世絵EDO-LIFE 東海道五拾三次 描かれた人々の「声」を聴く」編著／藤澤紫
「小学館あーとぶっく14 広重の絵本 遠くへてくてく」構成・文／結城昌子

水窪図書館には、東海道五拾三次の本もあります！